

はじめに

世界はかつて経験したことのない深刻な気候変動の時代を迎えようとしています。

2023年、国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した。」と発言されたように、地球温暖化に伴う気候変動は極端な異常気象をもたらし、全ての生物の生存を脅かしつつあります。

私たちが 2030 年までに行う選択と行動は、この先数千年の気候に影響を与えと言われており、今こそが、持続可能な社会を未来につなぐための分岐点であり、今すぐに行動を起こさなければなりません。

一方、宇治の歴史は古く、宇治川に架かる宇治橋は飛鳥時代に架橋されたと言われています。また、万葉集には宇治を詠んだ歌が数多く収められており、その歴史は奈良時代に遡ります。平安時代には山紫水明の地であることから、貴族の別荘が築かれ、室町時代以降は天下の茶どころとして名声を博し、今日に至っています。長い歴史の中で育まれた緑豊かな自然と歴史・文化が調和した景観は、今もその姿をとどめていますが、今後の気候変動の影響により、私たちはかけがえのない財産を失うことになるかもしれません。

このたび、宇治市では、脱炭素社会の実現を目指すとともに、古くから守られてきた豊かな自然や恵まれた歴史文化を未来につなぐため、総合的な環境施策の方向性と実現に向けた取組を示す「宇治市第3次環境保全計画」を策定しました。

今回策定した「宇治市第3次環境保全計画」では、SDGs の考え方を取り入れ、気候変動への対応を産業や経済の大きな成長の機会と捉え、市民生活の向上や地域経済の活性化を図ることにより、環境・経済・社会が統合的に向上した持続可能なまちづくりを目指してまいります。

令和 6(2024)年3月

宇治市長 松村 淳子

